

2024_0915「世界一オーロラがよく見える駅（写真）」日々の理科 3692号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

今年太陽活動が非常に活発で、優勢な黒点が多数出現しています。9月に入ってから現地（スウェーデンの北極圏）でも連日すばらしいオーロラが出現しています。

太陽活動は過去の観測から「およそ11年周期」で活発になることが知られています。今年まさにその年なのです。私は数年前か2024年の9月に現地で観測したいと考え、相当に準備をしてきました。8か月も前に航空券やレンタカー、宿泊先の手配まで済ませていたのです。目的はたった一つ、「湖に反映するオーロラを撮影すること」です。これは湖が凍る前の9月か10月だけ可能なことです。しかしさまざまな事情から、行けなくなりました。本当に残念に思っています。

しかし幸い現地には「湖の目の前」にカメラを設置してあります。このカメラが実にすばらしい画像を、次々と東京に送ってくれているのです。私の予想通り、私の滞在予定期間に劇的なオーロラが次々と出現しています。

カメラと湖の間には線路と小さな列車乗降場があって、絶好の観望ポイントになっています。徒歩1分のところにユースホステルもあるので、宿泊もバッチリです。カメラ（デジタル一眼）は30秒～1分の間隔で、24時間撮影を続けています。従って乗降場に1分ほどじっと立っていれば、「オーロラとの記念撮影」ができるのです。この日も、「世界一オーロラがよく見える駅」で記念撮影そしている二人組の旅行者がいました。いいなあ～！と思いました

（2024年9月中旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス駅前／東京から遠隔観測）

